

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

|          |        |   |    |   |            |
|----------|--------|---|----|---|------------|
| 仕事の内容    | 市報発行事業 |   |    |   |            |
| 担当部署・課長名 | 秘書広報   | 課 | 広報 | 係 | 課長名 五十嵐 孝雄 |

|                               |             |       |   |
|-------------------------------|-------------|-------|---|
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | 施策番号        | 行 - 3 | - |
| 【施策名】 市民自治の向上                 | 総合計画書 (ページ) | 127   |   |

|     |   |     |   |       |   |     |    |       |
|-----|---|-----|---|-------|---|-----|----|-------|
| 予算名 | 款 | 総務費 | 項 | 総務管理費 | 目 | 広報費 | 事業 | 広報活動費 |
|-----|---|-----|---|-------|---|-----|----|-------|

|                 |  |   |
|-----------------|--|---|
| 1<br>この仕事の目的    | ① 誰(何)を対象にしていますか。  | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)   |
|                 | 市民<br>→ ①総世帯数(平成30年4月1日現在)<br>②「声の広報」希望世帯数(平成31年3月1日現在)                    |   |
|                 | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]<br>定期的に発行する紙面並びに声の広報により、市政やイベントなどの情報を入手することができる。 | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)<br>→ ①市報発行部数(平成31年3月15日号) / 総世帯数<br>②声の広報発行部数(平成31年3月15日号) / 「声の広報」希望世帯数 |
| ③ そのために何をしましたか。 | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)  |   |
|                 | ①毎月2回の定期号(1日号、15日号)の市報を発行した。<br>②市報の発行に合わせ、音声版市報として、「声の広報」を発行した。           | → 年間発行回数  |

|            |      | 単位        | 平成28年度実績      | 平成29年度実績      | 平成30年度実績      | 平成31年度目標      | 平成32年度目標 |         |
|------------|------|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|---------|
| 2<br>指標の推移 | 対象指標 | ①の数値      | 世帯            | ①38104<br>②23 | ①38405<br>②21 | ①38705<br>②18 |          |         |
|            | 成果指標 | ②の数値      | 率             | ①82.2<br>②100 | ①81.6<br>②100 | ①77.2<br>②100 |          |         |
|            | 目 標  | ②の目標値     | 率             |               |               | ①85②100       | ①85②100  | ①85②100 |
|            |      | 目標値設定の考え方 | 多くの世帯に市報を配布する |               |               |               |          |         |
| 活動指標       | ③の数値 | 回         | 24            | 24            | 24            |               |          |         |

|         |         |             |            |            |            |            |   |
|---------|---------|-------------|------------|------------|------------|------------|---|
| 3<br>経費 | 事業費(実績) |             | 円          | 22,161,783 | 22,932,072 | 20,959,585 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。<br>人件費(再任用職員以外)<br>年間単価は、8,244,000円<br>時間単価は、4,200円<br>で計算してください。<br>【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
|         | 財源      | 一般財源        | 円          | 22,026,783 | 22,810,072 | 20,841,585 |   |
|         |         | 特定財源        | 円          | 135,000    | 122,000    | 118,000    |   |
|         |         | (うち受益者負担)   | 円          |            |            |            |   |
|         | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人          | 2.0        | 2.0        | 2.0        |   |
|         |         | 所要人数(再任用)   | 人          |            |            |            |   |
| 事業費+人件費 |         | 円           | 38,695,783 | 39,438,072 | 37,447,585 |            |   |

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

|           |  |
|-----------|--|
| 4<br>環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。   |
|           | ①市報は、昭和31年4月15日から、市政の円滑な運営と住民の利便性の向上を図り、市の情報を住民に伝えるために開始した。<br>②声の広報は、昭和58年4月から、視覚障害者に対する行政サービスとして、音訳グループ(朗読ボランティア)の協力を得て開始した。 |
|           | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。<br>新聞購読世帯が減少しており、市報の宅配サービスを利用する世帯が増加している。  |

|           |        |   |    |   |            |
|-----------|--------|---|----|---|------------|
| 仕 事 の 内 容 | 市報発行事業 |   |    |   |            |
| 担当部署・課長名  | 秘書広報   | 課 | 広報 | 係 | 課長名 五十嵐 孝雄 |

|             |  |
|-------------|--|
| 5<br>市民等の意見 | この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について |
|             | 平成30年9月の決算特別委員会及び平成31年3月の予算特別委員会において、市報の全戸配布について、要望があった。   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 6<br>市民協働   | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） |   |
|   | 取り組んだ  | 取組手法  |
|   |  | ⑥、⑦（6人の方が市民記者として参加し、市民記者レポートを掲載した）<br>【取組手法の種類】<br>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成<br>⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） |
| (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点                   |  |   |
| 市の情報を適時・的確に市民の方に伝えることは、市民協働において重要な要素であることから、引き続き正確な情報提供に努めたい。 |  |   |

|  |   |
|--|---|
| 7<br>課題  | (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容   |
|  | ①各課からの掲載依頼が増加しており、市報に掲載する情報量が増加している。<br>②新聞購読世帯が減少している。   |
|  | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。<br>①担当課との調整を踏まえ、記事の簡素化等を通じて市報に掲載する情報を精査した。<br>②市報の配布場所の拡大について、コンビニへの設置等の検討を行った。<br>③上記の①②に加え、市報に興味を持ってもらうよう、時々の特集記事を写真を多用して紹介したり、定期的の特集記事を行っている。また、比較的市報を読む方の割合が低い若年層に向け、AR動画を市報の発行日に合わせて配信している。 |
| (3)(2)を踏まえた今後の課題   |   |
| ①記事の簡素化を行い、情報を精査をしたが、依然として情報量が多い。<br>②コンビニを市報配布場所として検討したが、決定には至らなかったため、引き続き検討が必要である。<br>③平成30年4月15日号より全ページカラーとしたことでデザイン等の工夫が必要である。 |   |

|  |   |    |             |
|--|---|----|-------------|
| 8<br>今後の方向性  | (1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）   |    |             |
|  | ①引き続き、記事の簡素化等を通じて市報に掲載する情報量の精査を行う。<br>②既存の市報配布場所の利用状況を確認し、配布場所の検討を行う。<br>③紙面のタイトル文字等の配色やレイアウトに統一性を持たせるなどの工夫を行う。 |    |             |
|  | (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等  |    |             |
| ①記事の簡素化については、主管課から理解を得ることが必要である。<br>②市報配布場所の変更、拡大については関係機関との調整、予算措置が必要になる。<br>③デザイン等の工夫については、他市の市報や企業等の広報紙を参考に情報収集する必要がある。 |   |    |             |
| (3)改革・改善案による期待成果   |   |    |             |
| 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。  |   |    |             |
| 成果   | 成果を向上させる。   | 経費 | 仕事の経費は維持する。 |